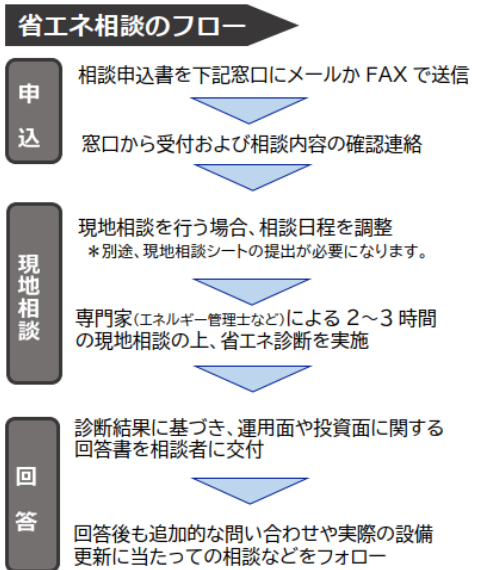


福岡県

省エネルギー相談事業 無料

福岡県では、事業者の皆様への省エネ相談窓口を開設しています。
相談の費用は 無料 で、中立・公平な視点でお答えします。
省エネ型設備への更新などをお考えの皆様、まずはお気軽にご相談ください！

- 1 対 象
- 現有設備の運用改善や省エネ型設備への更新などを検討している福岡県内の事業者（規模・業種は原則不問）
- 2 内 容
- 設備の運用改善方法や省エネ型設備への更新による経済的効果などをアドバイスします。
また、各種支援・助成制度について情報提供します。
- 3 相 談 料
- 無 料
- 4 メリット
- 経費削減と危機管理に役立ちます
 - 地球温暖化防止に貢献できます
 - 社員教育に活用できます
 - 助成・支援制度の情報が得られます



福岡県省エネルギー相談窓口（一般財団法人九州環境管理協会）宛
FAX:092-674-2361 E-mail:fccca@keea.or.jp

申込日
令和 年 月 日

福岡県省エネルギー相談事業 申込書

1 申請事業者について

会社・団体名	エネルギー管理指定工場（はいいいえ）		
所 在 地	〒		
代表者 職・氏名			
業種（具体的に）	（ ）		
環境取組（○を）	福岡県エコ事業所・エコアクション 21・ISO14001・その他（ ）		

2 相談したい事業所について

事 業 所 名			
所 在 地	〒		
責任者 職・氏名			
従 業 員 数	人	延床面積	m ²
申 込 担 当 者 （連絡窓口）	所属・役職	氏 名	
	TEL:	FAX:	
	E-mail:		

- 3 相談したい内容について（該当する項目に○を複数可） 具体的な事項があれば（ ）内に
- ・電気使用量の削減 : ()
 - ・使用最大電力の削減 : ()
 - ・燃料使用料の削減 : ()
 - ・設備の運用改善 : ()
 - ・設備の導入・更新 : ()
 - ・CO2の排出削減 : ()
 - ・その他: _____
- 4 主要なエネルギー施設について（改善したい施設に○を） 一わかる範囲で結構ですー
- ・電気施設（例：照明 台、 ）
 - ・電気熱施設（例：空調 台、 ）
 - ・熱施設（例：ボイラー 台、 ）
 - ・その他 _____

・ 過去1年間分のエネルギー使用量が必要
・ 各種図面、設備台帳、点検記録などがあればより具体的な提案が可能

- 5 エネルギーの使用状況について
- 直近1年間（事業年度可）の電気などの金額（使用量でも可） 一わかる範囲で結構ですー
- ・電気: _____ 千円/年 ・ガス: _____ 千円/年 ・水道 _____ 千円/年
 - ・A重油: _____ 千円/年 ・その他(): _____ 千円/年

お申し込みいただきありがとうございます。後日、担当者から相談内容等の確認連絡を行います。
※「過去1年間のエネルギー使用量」のデータが必要となりますので、ご準備をお願いします。
※相談受付が規定数に達した場合は、年度途中でなくても申請の受付を終了する場合がありますのでご了承ください。

申込方法
・
問い合わせ

◆申込方法◆

裏面の申込書に必要事項をご記入の上、FAX または E-mail にてお申し込みください。
申込書は、「ふくおかエコライフ応援サイト」からもダウンロードできます。
(<https://www.ecofukuoka.jp/administrator/4740.html>)

◆申込・問い合わせ先◆

福岡県省エネルギー相談窓口（一般財団法人九州環境管理協会）
福岡県地球温暖化防止活動推進センター 担当:新（アラタ）、大塚
TEL:092-674-2360 FAX:092-674-2361
E-mail:fccca@keea.or.jp

相談申込書は、裏面をご覧ください！

相談回答書の構成

1. 受変電設備・契約電力
2. 空調設備
3. 照明設備
4. 給排水設備
5. その他の機器・設備
6. 総評

株式会社大匠建設の会社概要

【従業員】 30名

【延床面積】 303m²

【年間エネルギー使用量およびCO2排出量】

種別	使用量	CO2 換算 (t-CO2)	原油換算 (KL)	費用 (千円)
電力:①電灯	19,494 (kWh)	5.97	4.35	626
電力:②低圧電力	7,907 (kWh)	2.42	1.76	306
液化石油ガス (LPG)	30 (kg)	0.09	0.04	32
合計	—	8.48	6.15	964

(電力) 株UPDATER 換算係数 CO2:0.000306t-CO2/kWh 原油換算:8.64GJ/千 kWh×0.0258KL/GJ で算出

(LPG) 換算係数 CO2:2.99t-CO2/t 原油換算:50.1GJ/t×0.0258KL/GJ で算出

受変電設備

- 電力契約の基本料金は最大需要電力に基づいて決められるため、省エネによって、最大需要電力が下がれば、基本料金の削減が期待できる

電力 負荷内訳	電灯	照明、家電製品、事務機器、EV 充電器
	低圧電力	空調機(エアコン)

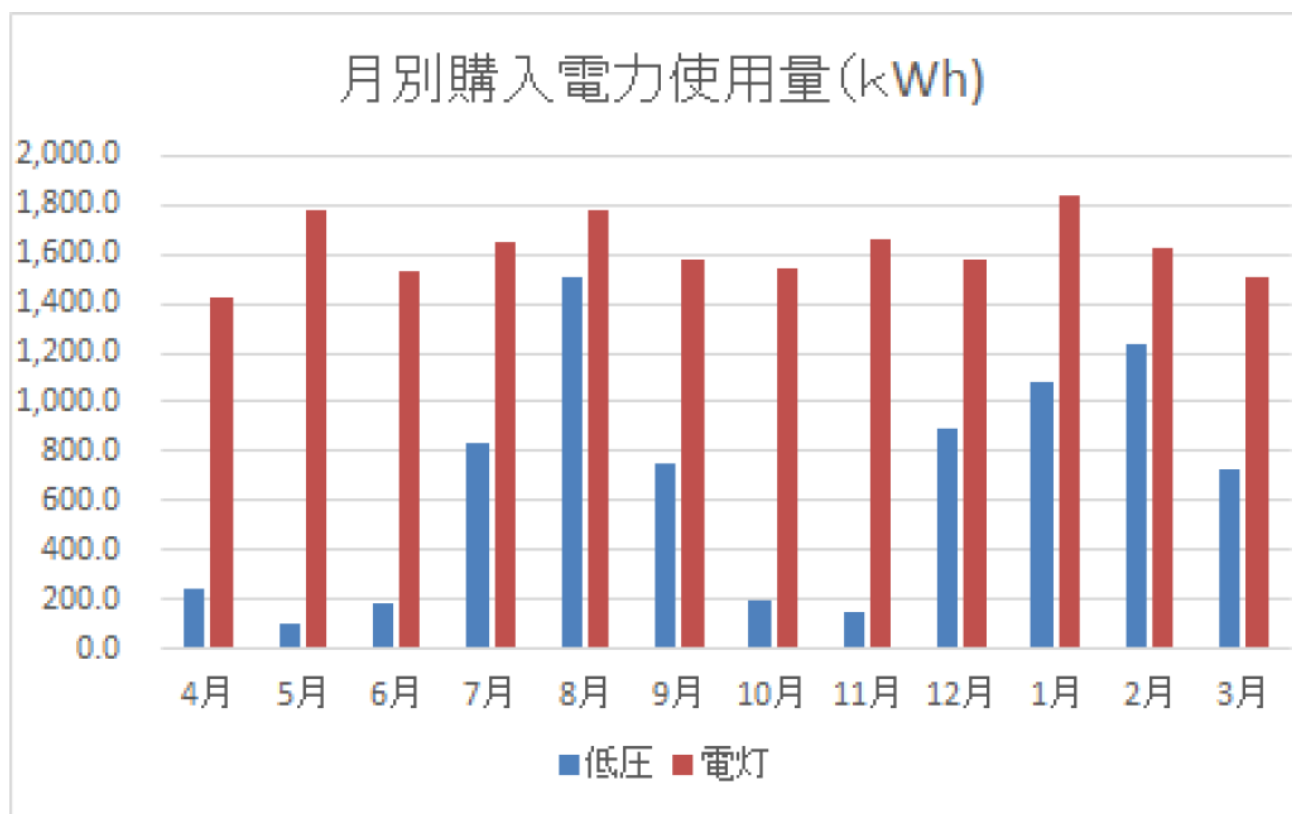


図-1 電力使用量の推移

空調設備

- 空調機・・・1Fに2台(室外機2台、室内機2台)、2Fに4台(室外機4台、室内機5台)
- 窓・・・遮熱フィルム、ブラインド
- 冷房稼働時間・・・1,150時間/年
- 暖房稼働時間・・・1,100時間/年
- フィルター清掃・・・室内機は年2回、室外機は実施なし
- 設定温度・・・冷房時25℃、暖房時22℃

省エネ提案

「3年に1回程度のエアコン室外機フィンの清掃」

冷房時削減電力量	178kWh
暖房時削減電力量	217kWh
合計	395kWh



【1F 室外機】



【2F 室外機】

電気代削減額	15,287円/年
CO2削減量	0.12 t-CO2/年

照明設備

- ・ 照明設備・・・すべてLED化済
- ・ 制御・・・トイレに人感センサー
- ・ 定期清掃・・・年1回



【2F 給湯室照明】



【2F 廊下スポットライト】

省エネ提案

「照明設備のLED化(すべて蛍光灯のままだった時との比較)」

蛍光灯だった場合の必要電力	3,040kW	約2分の1
LED化した場合の必要電力	1,629kW	
削減電力量	2,316kWh	

電気代削減額	74,344円/年
--------	-----------

CO2削減量	0.71 t-CO2/年
--------	--------------

給排水設備

- 給湯設備・・・トイレ洗面所手洗い(1F1カ所、2F1カ所)は手動水栓

省エネ提案

「センサーによる自動水栓化」

現状の水使用量

22.1m³

自動水栓化した場合の水使用量

11.0m³

削減水量

11.1m³



約2分の1

水道代削減額

11,200円/年

- ・ ガス給湯器・・・LPG用(熱効率83%)

省エネ提案

「ガス給湯器のエコジョーズへの更新」

現状のLPG使用量	30.0 kg
-----------	---------

更新後のLPG使用量	26.2 kg
------------	---------

削減できるLPG量	3.8 kg
-----------	--------

ガス代削減額	4,024円/年
--------	----------

CO2削減量	0.01 t-CO2/年
--------	--------------

- 全取組を実施した場合、10万円以上のコスト削減効果と、0.84t-CO₂の削減効果
- エネルギー使用量、CO₂排出量ともに10%程度の削減となる

取組	コスト削減額	CO ₂ 削減量
空調室外機のフィン清掃	15,287円	0.12 t-CO ₂
照明設備のLED化	74,344円	0.71 t-CO ₂
水道のセンサーによる自動水栓化	11,200円	—
ガス給湯器のエコジョーズへの更新	4,024円	0.01 t-CO ₂
合計	104,855円	0.84 t-CO ₂